

- 問1 太陽のまわりを公転する地球の位置と季節の変化について説明した文として最も適当なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)

1. 太陽光が赤道上に直射する位置にあるときは、昼間の長さが最も長くなります。

2. 太陽光が赤道上に直射する位置にあるときは、昼間の長さや夜間の長さがほぼ同じになります。

3. 北極側が太陽の方向に傾いている位置にあるときは、夜間の長さが最も長くなります。

4. 南極側が太陽の方向に傾いている位置にあるときは、昼間の長さが最も長くなります。
- 問2 日本で太陽や星を観察すると、時間とともに東から昇って西へ沈むように動いて見えます。このような天体の「日周運動」が起こる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

1. 地球が太陽のまわりを、西から東の向きに公転しているため

2. 太陽や星が、地軸を中心として東から西の向きに回転しているため

3. 地球が地軸を中心に、東から西の向きに自転しているため

4. 地球が地軸を中心に、西から東の向きに自転しているため
- 問3 透明半球を用いて、太陽の1日の動きを記録する観察を行いました。サインペンを用いて太陽の位置を1時間ごとに記録したところ、点の間隔はすべて等しくなりました。この観察結果から導き出される、太陽が1時間に移動した角度（天体の見かけの動きの速さ）として正しいものを答えなさい。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)

1. 1度

2. 30度

3. 15度

4. 180度
- 問4 太陽光が右側から並行に差し込んでいる模式図において、地球を中心として月がその周囲を反時計回りに公転している。月が太陽の方向に対して反時計回りに九十度の角度の位置（地球の真上の位置）にあるとき、地球から観察される月の名称として適切なものはどれか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)

1. 新月

2. 下弦の月

3. 満月

4. 上弦の月
- 問5 地球から太陽を観察したとき、ある黒点が太陽の中央に現れてから、太陽の自転によって再び中央に戻ってくるまでに28日間かったとします。地球は太陽の周りを1日に約1度公転しているものとする、この28日間で太陽が自転した角度として正しいものはどれかを選びなさい。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)

1. 360度

2. 332度

3. 400度

4. 388度
- 問6 地球が公転面に対して垂直な方向から地軸を一定の角度傾けたまま公転することによって、季節ごとに太陽の南中高度や昼夜の長さが変化します。現在の地球の地軸は、公転面に対して垂直な方向から約何度傾いていますか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

1. 23.4度

2. 45.0度

3. 35.0度

4. 66.6度
- 問7 地球は地軸を中心に、西から東へと一定の速さで自転しています。地球が24時間でちょうど1回転（360度）するとき、1時間あたりに回転する角度として正しいものを次から選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 5度

2. 24度

3. 15度

4. 30度
- 問8 太陽系における天体の関係について述べた次の文のうち、空欄にあてはまる最も適切な用語を選びなさい。「地球のように、太陽のまわりを公転している天体を惑星という。これに対し、月のように惑星のまわりを公転している天体のことを（ ）と呼ぶ。」 (2023年 群馬県公立入試 類似)

1. 銀河

2. 恒星

3. 小惑星

4. 衛星
- 問9 ある惑星の直径が、地球の直径の4.0倍であるとして、これらの惑星をどちらも完全な球体であると仮定した場合、この惑星の体積は地球の体積の何倍になりますか。適切な数値を選択してください。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 16倍

2. 4倍

3. 64倍

4. 12倍
- 問10 太陽系の惑星のうち、主に水素やヘリウムで構成されており、周囲に氷や岩石の粒でできた巨大な環を持つ天体は何か、名称を答えなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 天王星

2. 木星

3. 海王星

4. 土星
- 問11 天球上における太陽の見かけの通り道である「黄道」と、地球の自転軸に垂直な平面が天球と交わってできる「天の赤道」は、約23.4度傾いて交わっています。この傾きが生じる原因として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)

1. 月の公転軌道面が、地球の公転軌道面に対して約23.4度傾いているから。

2. 地球の自転軸が、公転軌道面に垂直な方向から約23.4度傾いているから。

3. 太陽の自転軸が、地球の公転軌道面に対して約23.4度傾いているから。

4. 地球の公転軌道が、正円ではなく楕円形になっているから。
- 問12 地球の内側を公転する金星を地球から観測する場合、観測可能な時間帯と方角の組み合わせとして適切なものはどれか。 (2020年 山形県公立入試 類似)

1. 日中の南の空、または夕方の西の空

2. 明け方の東の空、または夕方の西の空

3. 真夜中の南の空、または明け方の東の空

4. 明け方の西の空、または夕方の東の空
- 問13 月食が起こる仕組みについて述べた文として、科学的に最も適切なものを選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)

1. 地球の影の中に月が入り、太陽の光が月に届かなくなるため

2. 月の自転によって、太陽の光が当たらない面が地球を向くため

3. 地球の自転速度が変化し、月の見える位置が影に隠れるため

4. 月の影の中に地球が入り、太陽の光が地球に届かなくなるため
- 問14 太陽の本体を広い範囲で取り囲んでいる、非常に高温で希薄なガスの層の名称として適切なものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)

1. コロナ

2. 光球

3. プロミネンス

4. 黒点
- 問15 月食は、日食に比べて地球上の広い範囲で同時に観察することができます。その理由として適切な説明はどれですか。 (2022年 福井県公立入試 類似)

1. 月食は、月が太陽の一部を隠す現象であり、月の大気が光を屈折させて地球全体に届けるから。

2. 月食は、新月のときに太陽、月、地球が一直線に並ぶことで、地球の広い範囲に月の影が落ちるから。

3. 月食のときは月の公転速度が遅くなるため、地球が自転しても長い時間同じ場所から観察し続けられるから。

4. 月食は、地球が作り出す影の中に月が入る現象であり、その時に月が見えている場所であればどこでも欠けた状態を観察できるから。